

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	NO6	・職員の中には身体拘束について充分理解されていない。 ・A棟の玄関フロアへ出る扉が終日解放できない。	・職員全員が身体拘束についてしっかりと理解する。 ・A棟扉の終日解放していきたい。	・苑内での勉強会での実施及び身体拘束についての研修会への積極的な参加。 ・担当者を作り、定期的な勉強会と評価の実施。 ・解放し、出て行かれる利用者の方の見守りを密に行い、出て行かれた場所は付き添って行動する。	3ヶ月
2	NO33	・基本方針は定めているが詳細にホームとして出来る事、出来ない事を文書化していない。	・出来る事、出来ない事を具体的に文書に提示する	・職員全員でホームとしてできる事、出来ない事をしっかりと話し合い具体的に文書化する。 (ホームパンフレットに提示する。)	2～3ヶ月
3	NO10	・「家族の会」が設立できていない。	・少人数からでも家族の会ができるようにしたい。	・機会あるごとにご家族に声かけをして「家族の会」の必要性を説明し少人数でも設立できるよう取り組みたい。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。